梅郷駅入口横断歩道橋長寿命化修繕計画

令和６年３月

野田市　建設局土木部道路建設課

1．梅郷駅入口横断歩道橋の現状

野田市で管理している横断歩道橋は 1 施設のみであり、対象となる梅郷駅入口横断歩道橋は、昭和４３年（1968 年）３ 月に架設されてから、５６年が経過しています。直近では令和２年に定期点検を実施しており、健全性がⅠであることが確認されております。次回は令和７年に定期点検を実施する予定です。

今後、高齢化した横断歩道橋を維持管理していくためには以下のように努めていく必要があります。

2. 修繕計画策定の基本的な方針

一般的に横断歩道橋の寿命は 50 年から 60 年と言われています。今までのように、「悪くなってから対策をする」という対症療法型の維持管理を続けた場合、修繕に要する費用が増大することが懸念されますので、定期的に点検を実施して、「予防的な修繕を行う」予防保全型の維持管理を行います。予防保全型の維持管理を行うことで、横断歩道橋の将来的な安全性・信頼性、コスト縮減に継続的に努めます。

また、横断歩道橋の老朽化対策を適切に行うために、コスト縮減や事業の効率化を目標とした新技術を採用し、修繕費の縮減を行います。

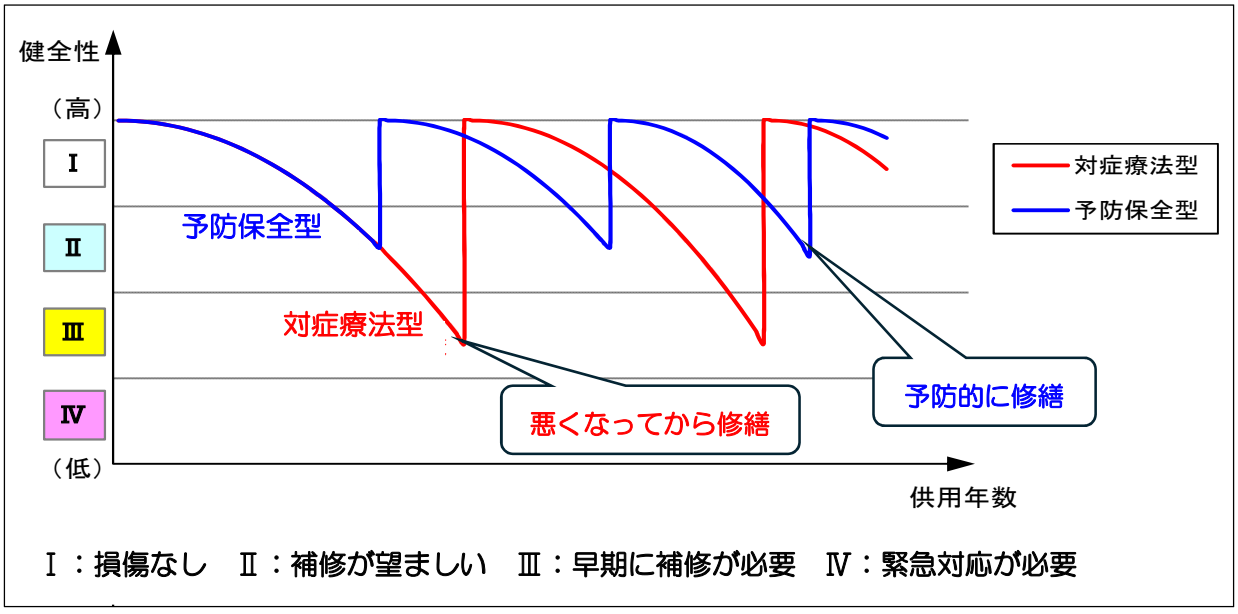

図１ 予防保全型と対症療法型のイメージ

3．長寿命化修繕計画による効果

新工法を採用することで塗装の耐用年数が延長され、工事回数を減らせますので、長期的にみると工事費削減につながります。

採用する新技術工法は、鉄の表面に膜をつくり、その膜により赤錆の発生を防ぐことで鉄の腐食を抑制する効果があります。

本計画を実施することで、横断歩道橋の寿命を延ばすことができ、かつ今後のコスト縮減が見込まれます。

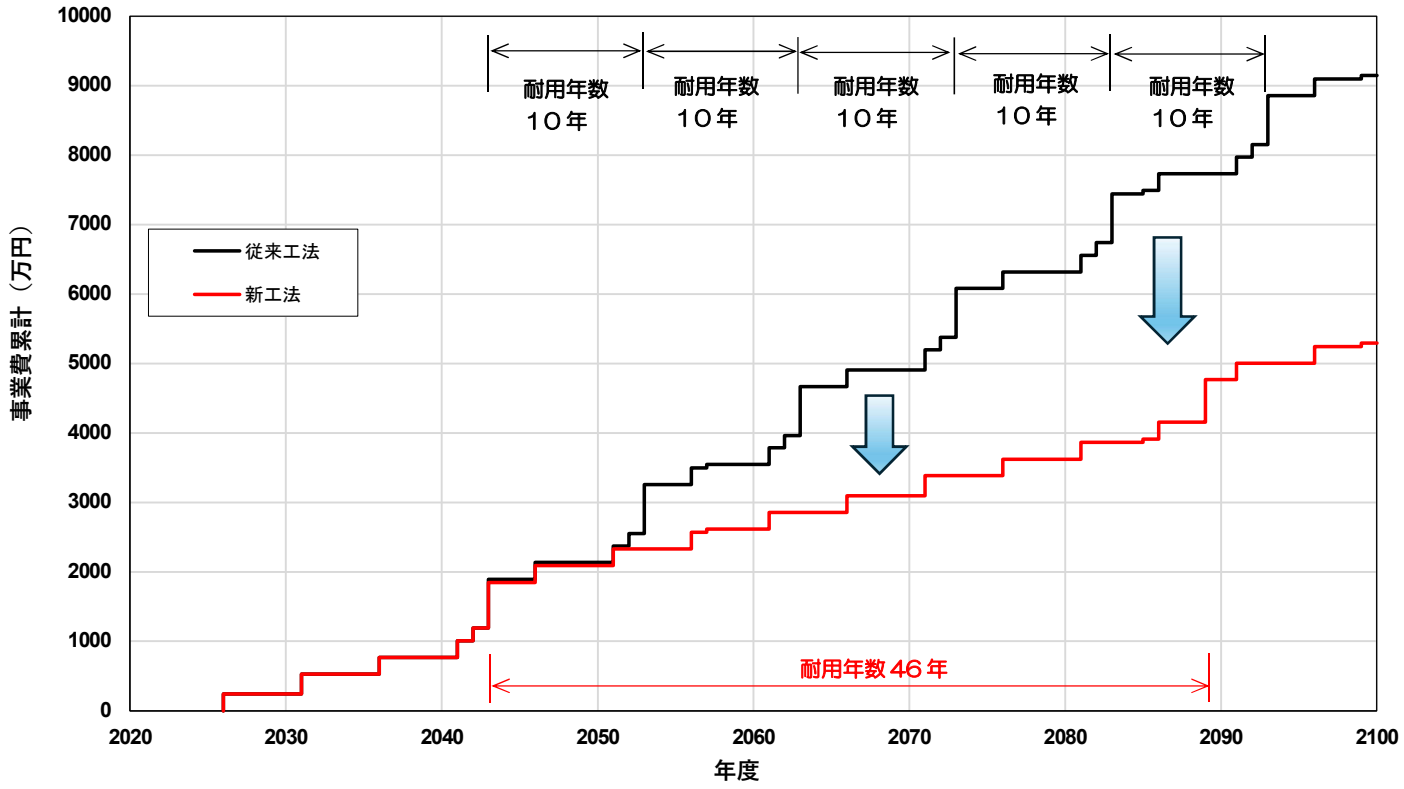

図２ 新技術を活用した予防保全型の事業費予測

4．長寿命化修繕計画に基づく今後の取り組み

野田市では、日常的なパトロール等により損傷の早期発見に努めてきましたが、効率的な維持管理を目指すため『長寿命化修繕計画』を策定しました。

今後、本計画に基づいて横断歩道橋の点検、維持、対策を繰り返し行うことにより、横断歩道橋の適切な管理を積極的にすすめ、経済的に安心安全な道路ネットワークを維持するように努めていきます。また、今後も新技術の活用検討を積極的に行い、当該箇所において周囲への安全性を十分に確保し、近接目視と同等の効果が得られる技術が開発されることを見込み、定期点検において令和７年度までに 20 万円の縮減を目標とします。また、関係機関との協議や施設利用者の同意が得られ集約化・撤去が可能と判断された場合、直近の目標として、令和 12 年度までに集約化・撤去を検討し、令和 12 年度までに維持管理において 240 万円程度の縮減効果を目指します。

5．意見を頂いた学識経験者

梅郷駅入口横断歩道橋の長寿命化修繕計画の策定にあたり、専門知識を有する学識経験者の方からご意見を頂きました。

東京理科大学　社会基盤工学科　加藤佳孝　教授

問い合わせ先：道路建設課
〒278-8550 千葉県野田市鶴奉７番地の１
TEL 04-7125-1111（内線）2516

2024 年（令和６年）３月作成